

地球市民 セブン

地域共生の実践

— 地域をつなぐ、世界とつなぐ —

地球市民セミナーとは：グローバル・スタディーズに関連する先端的な研究や実践を行っている方々をお招きする市民向けセミナーです。※清泉女子大学地球市民学部の授業の一環でもあります。

日程
(全6回)

10/7(水), 10/21(水), 11/11(水), 11/25(水)
12/9(水), 1/13(水) ① 時間各回 / 17:30~18:50

参加費
無料

来場 or
オンライン

① ご来場ご希望の方

申込期間：2026年9月1日(火)～9月24日(木) 必着
一度のお申し込みで、全ての回へご参加いただけます。

- 対象：16 歳以上の方
- 定員：50 名（定員を超えた場合は抽選）
- 会場：清泉女子大学 2 号館 4 階 240 教室

往復葉書に「清泉女子大学地球市民学部セミナー」とし、住所・氏名(ふりがな)・年齢・連絡先電話番号を明記の上、〒140-8715 品川区広町 2-1-36「文化観光戦略課生涯学習係」までお送りください。



品川区ホームページ
及びQRコードから
電子申請も出来ます

※ 締切日以降でも参加可能な場合があります。お気軽に品川区まで電話にてお問い合わせください。

※ 当落の通知は9月25日(金)以降を予定しております。

② オンラインご希望の方

申込期間：受講当日の17:00までエントリー可
右記のQRコードから地球市民学部公式noteを通じて
お申し込みください。

〈お問い合わせ先〉

清泉女子大学地球市民学部研究室

Email / josyu-chikyu@seisen-u.ac.jp



※全ての回にご参加いただくことも、興味のある回のみご参加も可能です。

高校生の皆さんへ：セミナーへの参加を歓迎します！

申し込みは①か②へお願いします。受講証明書が必要な場合には受講後1週間以内に氏名、高校名、学年、感想（200字程度）を明記して以下へご連絡ください。chikyu-shimin@ml.seisen-u.ac.jp

大学入試などの出願や面接でのアピールに、本プログラムの受講経験をを通して得たスキルや受講証明書を、ぜひご活用ください。



〒141-8642 東京都品川区東五反田 3 丁目 16-21



#67

2026/10/7 (水) ① 17:30-18:50

観光と地域共生 —地域の価値を生み出す仕組み—

2016年、博報堂グループの旅行会社「wondertrunk & co.」を設立。日本各地を世界から選ばれる旅先へと育てるデスティネーション開発と、富裕層向けインバウンド旅行事業を展開している。沖縄観光映像や富山県の観光地域づくりなどで国内外の賞を多数受賞。観光庁や環境省、金沢市などの有識者・委員も歴任し、持続可能な観光コンテンツの開発や、地域のガイド人材育成にも幅広く携わっている。



岡本岳大さん
オカモト タケヒロ
wondertrunk & Co

#68

2026/10/21 (水) ① 17:30-18:50

人とつながる有機農業 —農村と都市と世界と—

青年海外協力隊として、それぞれザンビア・マラウイへ赴任。日本国際ボランティアセンターのスタッフとして、エチオピアへ赴任。1993年、先祖代々続く農家である江原の実家で有機農業を始め、農場の名をガバレ農場（ひるぼ）とする。有機野菜（有機 JAS 取得）・あいがも農法米・自然卵を生産し、「宅配」を中心とした経営体で、今日に至る。浩昭は、日本有機農業研究会有機農業アドバイザー、埼玉県指導農士。広美は、県立伊奈学園総合高等学校で、有機農業の授業を担当。



江原浩昭・広美さん
エハラ ヒロアキ・ヒロミ
ガバレ農場

#69

2026/11/11 (水) ① 17:30-18:50

平和を紡ぎ、和解を育む —ルワンダにおける平和構築の実践から—

ルワンダ・プロテスタント大学 (Protestant University of Rwanda/PUR) 平和学准教授。2005年より、ルワンダの現地諸団体と協力し、大虐殺後の癒し、和解、共生を支援するプロジェクトに取り組む。2011年に PUR の教員となり、ルワンダ初の平和・紛争学科の設立に尽力。以来、現在も紛争の影響が続くアフリカ大湖地域を含むアフリカ諸国や日本から学生を受け入れ、平和構築を担う人材の育成とネットワークづくりに力を注いでいる。



佐々木和之さん
ササキ カズユキ
ルワンダ・
プロテスタント大学

#70

2026/11/25 (水) ① 17:30-18:50

出会い直しの旅 —ジンバブエでの原体験と日本に暮らすアフリカ人を描く理由—

美術家。1986年ジンバブエ・ハラレ生まれ。父はジンバブウェ現代史、アフリカ人都市労働史の研究者。1996年日本に移住。2015年に多摩美術大学造形表現学部造形学科油画科卒業。2020年、在日アフリカ人を取材する『MOTO マガジン』を創刊。VOCA展 2021 選出。



吉國元さん
ヨシクニ モト
美術家・
国立ハンセン病資料館

#71

2026/12/9 (水) ① 17:30-18:50

サステナブルな観光という挑戦 —多文化共生を実現するために—

東海道品川宿エリアを拠点に、8軒の宿泊施設・旅行会社・まちづくり交流事業を展開。地域文化や歴史を可視化し、外からの人を自然に迎入れる仕組みをつくることで、地域間交流と関係人口の創出に取り組む。全国10地域での交流型宿泊施設の開業支援を通じ、サステナブルな観光を実践しながら、多文化が共生するまちづくりの仕組みを品川宿から各地へ広げている。



渡邊崇志さん
ワタナベ タカユキ
株式会社宿場 JAPAN
代表取締役

#72

2027/1/13 (水) ① 17:30-18:50

一人ひとりの命と尊厳を見つめて—日本と世界がつながるために—

1998年からカンボジア対人地雷被害者支援から始まり、平和、人権、人間の尊厳を大切に活動に取り組んでいる。映像ジャーナリスト古居みずえと共に、映画「飯館村の母ちゃん」とともに「飯館村べこやの母ちゃん—それぞれの選択」二作品を制作。また、パレスチナ女性二人のガザ日記「この地には生きるに値するものがある」を翻訳。



岡戸良子さん
オカド ナガコ
横浜YMCA常議委員・
横浜YMCA学校法人評議員